

2022年度（令和4年度）事業報告

2022年度（令和4年度）は、新型コロナウイルスの第6波の感染者数が減少傾向の中、まん延防止等重点措置が全面解除となる中でスタートしたものの、雇用情勢や社会経済活動は、7月からこれまでの波を上回る規模で感染拡大した第7波、11月から同程度の第8波が到来し、引き続きその影響を受けた。

新型コロナウイルス感染症については、感染拡大の可能性あるもののウイズコロナの下で各種政策の効果もあり、経済に与える影響は小さくなり、景気がもち直していくことが期待されている。（内閣府の「4月」月例経済報告）

一方、この4月に公表された国立社会保障・人口問題研究所の最新の「将来推計人口」によると、我が国の人口は、2020年（令和2年）の1億2,615万人（65歳以上人口3,603万人・28.6%）が、2070年（令和52年）には約3割減少し、8,700万人（65歳以上人口3,367万人・38.7%）になると推計している。

この将来推計は、これまで言われてきた少子化と高齢化、生産年齢人口の縮小が同時に進むという構造的な課題（事実）と労働力確保対策（環境整備）の必要性を改めて浮かび上がらせた。

こうした中、経済、社会の活力を維持・発展させていくため、生涯現役社会の実現が一層求められており、意欲あふれる高齢者がその持てる能力と豊かな経験を活かしながら活躍できる機会を提供するシルバー人材センターへの期待は一層大きなものとなっている。

このような状況の下で、当センターは2022年度（令和4年度）においても第三次中期計画に基づき、組織の根幹である会員の確保と就業機会の拡大、安全就業の徹底などに重点的に取り組んだ。

会員の確保については、定年延長や継続雇用制度の定着などによる厳しい環境の中、新規入会者の加入促進に努めたものの前年度を上回る入会者を確保することができなかった。また、退会防止についても一層配意したものの退会者が大幅に増加し、結果として会員数は前年度を下回り、依然として厳しい状況となった。

受注実績は、請負・委任業務と労働者派遣事業において、それぞれ受注件数、契約金額とも減少し、全体として前年度を下回った。

安全就業面では、前々年度の賠償事故件数及び金額の増加を受け、免責額を1万円から2万円に改定すると共に、会員の高齢化を踏まえ、平素の作業状況を点検する安全パトロールや安全だより等を通して安全就業と事故防止対策の徹底に努めた。これらにより、前年度との比較では、事故件数は減少したものの高額賠償金により支払額は大幅な増加となっている。依然として慣れによる注意不足や安全意識の低さが主因の事故が多数である。

今後、当センターが高齢者の受け皿としての機能を十分果たしながら地域社会に貢献していけるよう、一層、会員の確保・就業機会の拡大・安全就業の徹底等の取組を強化する。

2022年度（令和4年度）の事業実績と実施状況は、次のとおりである。

1 会員の確保

正会員の状況は、入会者は183人と前年度を4人下回り、退会者は221人と前年度より33人増えたため、年度末の会員数は1,153人（男性799人、女性354人）で、前年度末の会員数より38人減となった。

（1）新規入会者の入会促進

- 毎月第4木曜日に本部と北部事務所での入会説明会のほかに、4月・9月・10月・3月には、本部と北部事務所での入会説明会を各2回実施するとともに、9～10月・3月にはこれまでの東部・西部・北部地域に中部地域を加え、さらに9～10月は南部地域でも入会説明会を実施した。
- 入会説明会用に製作したDVDを使用し、参加者が具体的に就業をイメージできるよう努めた。また、説明会では就業案内や就業体験の紹介や就業相談のほか、講習会の開催予定や会員互助会への加入奨励も行った。さらに、説明会後の入会手続き段階では、個別相談に応じるなどの入会促進に努めた。
- 入会説明会で入会申込の無かった参加者には、一定期間経過後に入会勧誘と就業案内を送付するなどのフォローにも努めた。
- 会員募集と入会説明会のチラシを新聞折り込みすることにより周知を図ったほか、公共施設へ設置した広告看板などにより説明会への参加者や入会者が増えるよう努めた。
- 会報誌「いきいきふくやま」や事務局だより等を通して、会員に新規入会の勧誘を要請するとともに、ポイント表彰制度により勧誘・入会促進につながり21名を表彰することができた。
- 市民を対象とした剪定講習会（連合会）を当センターに誘致開催し、入会・就業に繋げた。

（2）女性会員の積極的な確保

- 福祉・家事援助サービスに役立つ講習会として、高齢者活躍人材確保育成事業の子育てサポート講習会や保育サポート養成講座（修了証発行）において入会案内と就業相談を実施した。
- 女性会員の知人同伴での手芸講習会（ステンド足元ランプづくり）や断捨離講習会など女性に興味を持って貰えるテーマでの講習会を開催し、その加入促進に努めた。

（3）会員の退会防止の推進

- 新規入会者や未就業会員の早期就業に向けて取り組んだ。
 - ・新規入会者や未就業会員に対し、公園清掃や駐輪場管理等の体験就業機

会を提供するとともに、事務局だよりやホームページで就業情報を提供した。

・随時、電話等により就業情報を提供し、就業相談によるフォローアップに努めた。

○加齢などで就業が困難となった会員のため新たな制度として、会費免除・仮登録・ゴールド会員制度の情報収集を行い、事務所内部での検討に着手した。(継続課題)

○生きがいを感じ、居場所としての役割を果たせる取組として、互助会の同好会活動を紹介するチラシの更新やショートメッセージで他団体主催の講習会を案内し、会員の活動継続と連帯感の醸成に努めた。

(4) 会員満足度の向上

○会員間の交流を促進する機会の提供や会員の参加意欲等を高めることを目的に、ドローン体験講習会や断捨離講習会を開催すると共に、フレイルチェック会(福山市)やスマホデビュー講習会(福山市)を当センターに誘致開催した。

2 就業機会の拡大

(1) 新規事業の開拓

○ドローン体験講習会を開催し、ドローンを活用した新たな就業機会の創出に向けた継続的なスキルアップ環境づくりに取り組んだ。

○公共事業や関連事業の受注拡大に向け、福山市関係課と新たな維持管理業務や生活支援・育児支援分野への就業拡大について協議・要望した。

○獣害柵の設置講習会による獣害対策分野での事業化の推進などにより、年度内の就業を実現することができた。

(2) 就業調整(マッチング)の推進

○就業相談

・高齢者活躍人材確保育成事業の子育てサポート養成講座や保育サポート養成講座において入会案内と就業相談を実施した。(再掲)

合わせて、子育てサポート養成講座の内容に係る市内施設に情報提供を行い、当センターの人材活用のPRを行った。

○事務局だよりの発行と合わせ「就業案内(会員への求人情報)」を送付すると共に、ホームページやショートメール等での就業情報の提供に取り組んだ。

(3) 労働者派遣事業の拡充

○労働者派遣事業について、前年度からの継続した事業所からの受注に加え、下見を実施した結果、新たな事業所から保育補助・調理補助・測量補助な

どを受注した。

(4) 発注者の満足度向上に向けた技能とマナー向上

○会員の技能向上に向け草刈講習会ほかの各種講習会を実施した。

剪定講習会（連合会）では、参加者 15 人（市内在住）のうち 3 人が入会し、1 人が剪定班で就業した。

○会員の接遇（マナー）向上を図るため、各職域班リーダー会議の開催時に「お仕事先でのマナーについて」（令和 4 年度 福祉・家事援助サービス研修会の資料）を配付し、職員による説明を行った。

【講習会一覧】

| 講習名 | 開催日 | 参加人数 |
|------------------------|----------------------------------|------|
| ドローン体験講習会 | 5月13日・17日、7月5日・13日、 11月8日・11日 | 23人 |
| 草刈講習会 | 5月19日、6月9日、7月7日、8月19日、 3月16日 | 17人 |
| 剪定講習「入門編」 | 5月23日～26日 | 15人 |
| 獣害柵の設置講習会 | 6月7日・8日 | 31人 |
| スマホ教室 | 6月7日・21日 | 29人 |
| 保育サポート養成講座 | 7月14日・15日・19日 | 11人 |
| 子育てサポート養成講座 (連合会) | 7月26日・29日 | 23人 |
| 手芸講習（ステンド 足元ランプづくり） | 7月27日 | 10人 |
| 草取り講習会 | 6月8日、8月18日、10月13日、 11月10日 | 6人 |
| 筆耕講習会 | 10月12日・19日・26日 | 21人 |
| 剪定講習会（連合会） | 11月14日～16日、12月7日～9日 | 25人 |
| スマホ教室（初級&中級） | 11月17日・18日 | 32人 |
| 刈払機取扱作業者 安全衛生講習会 | 2月7日 | 15人 |
| スマホデビュー講習会 (福山市) | 2月10日 | 18人 |
| 剪定スキルアップ講習会 | 3月8日 | 6人 |
| 断捨離講習会 | 3月15日 | 31人 |

(5) 独自事業の推進

○再生自転車販売事業、チップ事業に取り組んだ。

(6) 関係団体との連携

- 公共事業や関連事業の受注拡大に向け、福山市関係課と新たな維持管理業務や生活支援・育児支援分野への就業拡大について協議・要望した。

(再掲)

3 普及啓発活動の推進

(1) 普及啓発活動の強化

- 福山市の広報紙及び関係機関の機関誌を活用した PR 活動
 - ・福山市の広報紙「ふくやま」への定期的な PR 掲載や大型記事の掲載のほか、福山市社会福祉協議会の機関誌への広告など当センターの PR に取り組んだ。
- 会員募集と入会説明会のチラシを新聞折り込みするほか、公共施設へ設置した広告看板などにより周知を図った。(再掲)
- ホームページによるシルバー人材センター事業の紹介や入会案内などの情報発信に取り組んだ。
- 会報誌「いきいきふくやま」や「事務局だより」の発行
 - ・会報誌や事務局だよりを発行し、会員にセンター事業の周知を図るとともに、会員による新規入会者の勧誘を要請した。
 - ・労働者派遣事業の派遣先事業所や子育てサポート養成講座の内容に係る市内施設や当センターと関りの深い高齢者団体に「いきいきふくやま」を送付し、PR に努めた。

(2) 社会参加活動の推進

- ・10月の「シルバーの日」の活動として、市役所本庁舎周辺で清掃ボランティア活動を市内イベントの日程に合わせて実施した。

4 安全就業の推進

2022年度(令和4年度)の事故は、傷害事故が7件、賠償事故が11件で、計18件発生し、前年度と比べると全体で12件、約40%の減少となった。

傷害事故・賠償事故ともにそれぞれ6件の減少となっている。傷害事故としては、転落・転倒による事故や裂傷事故等が発生している。賠償事故については、刈払機による作業中の小石飛散事故や光ケーブル等切断のほか、作業中の接触等による物損となっている。物損事故に関しては、特に飛散防止対策の不備や発注者との打ち合わせを含む事前確認やグループ内の情報共有が不十分なため発生したものであり、安全就業のルールを徹底することにより防げたと思われる事故が大半であった。

なお、賠償事故の増加(賠償保険金の増大)による保険財政の破綻により、就業自体が出来なくなる可能性が全国的にも懸念される状況にあり、安全就業の推進は、当センターを含む事業継続のための喫緊の課題と考えられる。

| | | | | |
|-------|------------|----|-------------|----|
| ○傷害事故 | 転倒による事故 | 2件 | ハチ刺され | 2件 |
| | 転落による事故 | 1件 | 稼働中の器具への接触 | 1件 |
| | 就業途上の交通事故 | 1件 | | |
| ○賠償事故 | 刈払機による飛散事故 | 5件 | 誤操作等による切断事故 | 4件 |
| | 接触による物損事故 | 1件 | その他（伐採等） | 1件 |

(1) 安全委員会・安全パトロールの強化

- 安全委員会を6回開催し、安全就業推進計画や安全対策重点項目を定め、事故の未然防止の観点から、安全パトロール実施要領に基づき平素の作業状況の安全パトロールを6回実施した。
- 事故の原因分析と対策を検討し、「安全だより」やリーダー会議などでその情報の共有を図り、事故防止対策の徹底に努めた。
- 夏期の熱中症対策（実施期間：7月25日～8月31日）を実施した。

(2) 作業前ミーティングの実施と安全就業チェックシートの活用の徹底

- 「安全だより」や各職域班を通して、作業前ミーティングや危険箇所の事前確認の徹底と防護対策の確実な実施を周知した。
- 就業報告書の書き方（チラシ）を全会員に送付し、その徹底を図った。（9月・11月）
- 提出された就業報告書を抽出点検し、適正就業チェックシートの活用が不十分なものについて、個別指導を行った。

(3) 安全講習・研修の推進等

- 会員の技能向上、知識の取得や安全就業に向けた講習会等を実施した。

【講習会一覧】（前掲2(4)参照）

【職域班・地域班会議】

| 会議名 | | 開催日 | 参加人数 |
|-------------|---------|---------------------------|------|
| 剪 定 班 | 役員会議 | 4月26日、12月28日 | 13人 |
| | リーダー会議 | 6月24日、9月2日、1月31日 3月17日 | 82人 |
| | 草取班会議 | 3月10日 | 13人 |
| | 北部運搬班会議 | 3月13日 | 11人 |
| | 地域班会議 | 3月14日 | 5人 |
| | 家事援助班会議 | 3月20日 | 4人 |
| | 草刈班会議 | 3月22日 | 17人 |
| | 施設班会議 | 3月24日 | 13人 |
| | 公園班会議 | 3月29日 | 23人 |

| | | |
|----------|-------|-----|
| 運搬班会議 | 3月30日 | 18人 |
| 4職域班合同会議 | 3月31日 | 4人 |

※4職域班とは、運搬班、筆耕班、襖障子班、再生自転車班である。

(4) 会員自らによる健康管理の推進

○安全だよりや会報誌「いきいきふくやま」で福山市の健康診査受診の呼びかけや日常の体調管理の留意点、新型コロナウイルス感染予防などの周知を図った。

(5) 新型コロナウイルス感染防止対策について

○会報誌「いきいきふくやま」で新型コロナウイルス感染予防の周知を図ると共に、年末年始など感染拡大への留意を要するタイミングなど必要に応じてショートメール等による注意喚起などを行った。

5 適正就業の推進

(1) 適正就業の推進

○発注者ニーズに応じて労働者派遣事業を活用するとともに、受注内容や就業実態に留意しながら適正就業の推進に取り組んだ。

○新規の民間発注者には安全衛生や労働関係法規の遵守など適正就業の徹底を周知した。

(2) 就業機会の均等化の推進

○公共事業部門のワークシェアリング（公共業務の公募）の実施

・より多くの会員が公平に就業できるよう公共事業部門でワークシェアリングを実施し、26人が新規に就業することとなった。

○新規入会者と未就業会員への就業機会の提供

・新規入会者や未就業会員に対し、公園清掃や駐輪場管理等の体験就業機会を提供するとともに、事務局だよりやホームページで就業情報を提供した。（再掲）

(3) 発注者の満足度向上の推進

○会員の接客・技能向上などに向けた講習会を実施した。

【講習会一覧】（前掲2(4)参照）

○職域班リーダー会議や事務局だよりなどを通して、発注者への迅速な連絡と作業前や完了後の確認の確実な実施、就業報告書の迅速な提出などを依頼し、発注者へのサービス向上に取り組んだ。

6 組織体制の充実と財政基盤の強化

(1) 組織の機能強化

○会員確保に向けた取組みや安全就業の推進などのため、理事会や理事会専門委員会、各種委員会を開催した。

○職域班のリーダー会議などを通し、会員による自主的な運営ができる組織づくりに努めた。

【総会・理事会等の開催状況】

① 定時総会 [1回]

| 開催月日 | 内 容 |
|-------|--|
| 6月16日 | 議案審議 議案第1号 2021年度（令和3年度）事業報告について 議案第2号 2021年度（令和3年度）収支決算について 議案第3号 理事の選任について 報告事項 報告第1号 2021年度（令和3年度）収支補正予算について 報告第2号 2022年度（令和4年度）事業計画について 報告第3号 2022年度（令和4年度）収支予算について |

② 理事会 [5回]

| 開催月日 | 内 容 |
|-------|---|
| 5月13日 | 議案審議 議案第1号 2021年度（令和3年度）事業報告について 議案第2号 2021年度（令和3年度）収支決算について 議案第3号 理事候補者の選考について 議案第4号 表彰について 議案第5号 2022年度（令和4年度）定時総会について 議案第6号 事務費規程の一部改定について 議案第7号 理事長に対する権限委任について 報告事項 報告第1号 正会員入会者の報告について 報告第2号 未収金の回収状況について 報告第3号 ポイント表彰制度について |

| | |
|---------------|---|
| <p>10月28日</p> | <p>議案審議</p> <p>議案第1号 2022年度（令和4年度）収支補正予算について</p> <p>議案第2号 特定資産取得資金の計画変更について</p> <p>議案第3号 役員の報酬等及び費用に関する規程の改正について</p> <p>議案第4号 理事長に対する権限委任について</p> <p>報告事項</p> <p>報告第1号 予算流用について</p> <p>報告第2号 正会員入会者の報告について</p> <p>報告第3号 職務執行状況の報告について</p> <p>報告第4号 事業報告について</p> <p>報告第5号 正会員会費の納入状況について</p> <p>報告第6号 未収金の回収状況について</p> |
| <p>2月14日</p> | <p>議案審議</p> <p>議案第1号 配分金見積り基準等の改定について</p> <p>議案第2号 財務規程の一部改正について</p> <p>議案第3号 理事長に対する権限委任について</p> <p>報告事項</p> <p>報告第1号 予算流用について</p> <p>報告第2号 正会員入会者の報告について</p> <p>報告第3号 事業報告について</p> <p>報告第4号 ワークシェアリング（公共業務の公募）の取組みについて</p> <p>報告第5号 正会員会費の納入状況について</p> <p>報告第6号 未収金の回収状況について</p> |
| <p>3月16日</p> | <p>議案審議</p> <p>議案第1号 2022年度（令和4年度）収支補正予算について</p> <p>議案第2号 職員就業規則の一部改定について</p> <p>議案第3号 2023年度（令和5年度）事業計画(案)について</p> <p>議案第4号 2023年度（令和5年度）収支予算(案)について</p> <p>議案第5号 2023年度（令和5年度）役員賠償責任保険契約の承認について</p> <p>議案第6号 理事長に対する権限委任について</p> <p>報告事項</p> <p>報告第1号 2022年度（令和4年度）収支決算見込について</p> <p>報告第2号 職群における各リーダーの連絡調整等に係る「活動支援費」支出内規の一部改正について</p> <p>報告第3号 機械使用料の見直しについて</p> <p>報告第4号 正会員入会者の報告について</p> |

| | |
|-----------------|-----------------------------|
| | 報告第5号 職務執行状況の報告について |
| 3月28日 * 書面表決 | 議案審議 議案第1号 就業規約の一部改正について |

③ 理事会専門委員会 [1回] (総務委員会・普及啓発委員会・事業委員会)

| 開催月日 | 内 容 |
|-------|----------------------------|
| 2月 9日 | 総務委員会 ・配分金見積り基準等の改定について |

④会計監査[1回]

| 開催月日 | 内 容 |
|-------|---|
| 5月11日 | 監査事項 (1) 2021年度(令和3年度)事業報告について (2) 2021年度(令和3年度)収支決算報告について (3) 会計帳簿等について |

(2) 業務運営の効率化

- 全国シルバー人材センター事業協会主催の派遣元責任者講習会や県連合会主催の実務委担当者研修会に参加するとともに、会員拡大・就業開拓担当者会議やの適正就業担当者会議等をオンライン受講するなどにより事務局職員の資質向上と事務処理能力の向上に努めた。

(3) 財政基盤の強化

- 会員の確保や就業機会の拡大、労働者派遣事業等の開拓、公共業務の維持継続を図りながらセンターの事業基盤強化に努めた。
- 請求書の早期送付など会員と連携して迅速な事務処理に取り組み、未収金の早期回収と防止に努めるとともに、会費未納者へは就業機会の提供を図り、就業を通じた会費納入の促進に努めた。
- 計画的、効率的な予算執行と経費の節減に努めた。
- 受注、就業の状況は次のとおりである。

【請負・委任業務の受注状況と就業状況】

- ・受注件数 7,574件(対前年度比 673件減)
- ・契約金額 437,549,486円(対前年度比 16,011,701円減)
- ・公共事業と民間事業の比率
公共 29.8%
民間 70.2%(内訳:企業等 24.3%・44.9%・独自事業 1.0%)

- ・ 契約金額に占める職域群ごとの割合

| | |
|----------------------------|--------|
| 運搬・清掃・包装等の職業（除草、草刈、屋内清掃など） | 58.58% |
| 農林業の職業（剪定、伐採、農作業など） | 27.32% |
| サービスの職業（家事援助サービス、駐車場管理など） | 10.21% |
| 生産工程の職業（襖障子張替、チラシ封入作業など） | 2.62% |
| 事務的職業（一般事務、宛名書き、筆耕など） | 1.16% |
| 建設・採掘の職業（大工・左官など） | 0.11% |

- ・ 受託件数 11,794 件（対前年度比 637 件減）
- ・ 就業延人員 106,016 人（対前年度比 3,069 人減）
- ・ 就業率 82.0%（対前年度比 2.2 ポイント増）

【労働者派遣事業の受注状況と就業状況】

- ・ 受注件数 70 件（対前年度比 4 件減）
- ・ 契約金額 47,359,813 円（対前年度比 2,633,726 円減）
- ・ 就業延人員 9,224 人（対前年度比 673 人減）
- ・ 就業率 80.6%（対前年度比 12.8 ポイント減）